

大阪市内の感染症発生状況 5類(定点把握) 2026年発生状況

- 1 RSウイルス感染症
- 2 咽頭結膜熱
- 3 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎
- 4 感染性胃腸炎
- 5 水痘
- 6 手足口病
- 7 伝染性紅斑
- 8 突発性発しん
- 9 ヘルパンギーナ
- 10 流行性耳下腺炎

- 11 インフルエンザ
- 12 COVID-19
- 13 急性呼吸器感染症(ARI)
- 14 急性出血性結膜炎
- 15 流行性角結膜炎
- 16 感染性胃腸炎(ロタウイルスが病原体であるものに限る。)
- 17 クラミジア肺炎(オウム病を除く)
- 18 細菌性髄膜炎
- 19 マイコプラズマ肺炎
- 20 無菌性髄膜炎

基幹定点病院から報告
(大阪市4箇所)



5類(定点把握) 定点当たり報告数

定点当たり報告数(人/定点): 1つの定点医療機関から1週間で何人の患者の報告があったかを表す。総数で50人の患者の報告があれば1つの定点当たり報告数0.94人となる。(大阪市小児科定点53定点の場合)

縦軸…定点当たり報告数

横軸…週

折れ線グラフ…2025年のデータ

棒グラフ…2026年のデータ

